

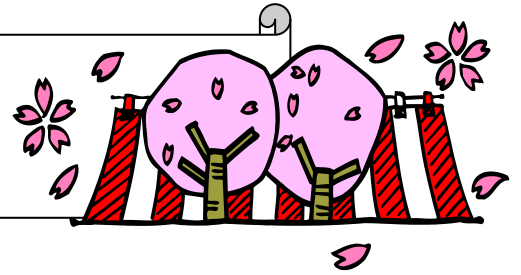
ゴ ク ロー サン
5 9 6 3 ハート通信

VOL. 46

竹原運輸株式会社

発行日 平成 24 年 3 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

今回は実際にあった話をご紹介します。

50代とおぼしき白人女性が飛行機内で席に着くと、彼女は自分の隣が黒人男性であると気がついた。周囲にもわかるほどに激怒した彼女はアテンダントを呼んだ。



アテンダントが「どうなさいましたか？」と聞くと

「わからないの？」「隣が黒人なのよ！彼の隣になんか座ってられないわ。席を変えて頂戴」

「お客様、落ち着いていただけますか」とアテンダント。

「当便はあいにく満席でございますが、今一度空席があるか調べて参ります」

そう言って去ったアテンダントは、数分後に戻ってきてこう言った。

「お客様、先ほど申し上げましたようにこちらのエコノミークラスは満席でございます」

「ただ機長に確認したところ、ファーストクラスには空席があるとのことでございます」

そこで女性客が何か言おうとする前に、アテンダントは次のように続けた。

「お察しとは存じますが、当社ではエコノミークラスからファーストクラスに席を替えるという事は通常行っておりません。しかしながら、あるお客様が不愉快なお客様の隣に座って道中を過ごさざるをえない、という事は当社にとって恥ずべき事と判断致しますので当然事情は変わって参ります。

そして、黒人男性に向かってアテンダントはこう言った。

「ということで、お客様、もしおさしつかえなければ、お手荷物をまとめて頂けませんか？ファーストクラスのお席へご案内いたします」

近くの乗客が拍手し歓声を上げるのを、白人女性は啞然と眺めるだけだった。

こんなすばらしい対応ができる会社を目指そうと思います。



竹原和行

3月12日は先代の祥月命日です。満八年経ちました。

この同日に、石川県知事より弊社に対しまして、表彰状を賜りましたのでご報告させていただきます。

表彰の内容は、弊社羽咋営業所が石川県内におけるエコドライブ推進事業所として、優れた取組みをしていることに対してのものです。石川県で5社の受賞事業者数でした。

くしくも先代の祥月命日に時を同じく受賞した事に、大変感動しています。

先代が見守っていてくれて「おい、もっと頑張れよ」と激励してくれたようで、社員一同、更なる安全運転・エコドライブに邁進していく決意を強くした次第です。

福井県トラック協会主催によります第8回トラックドライバー安全運転コンクールにて我社の参加メンバー、80名全員が平成23年8月1日から平成23年12月31日までの153日間の全期間内、無事故・無違反を達成しました。

福井県自動車安全運転センターの運転記録証明書の発行に数ヶ月かかる為に、トラック協会からの成績通知が例年遅くなりますが、結果は見事、全員達成でした。

当り前のことを、きちんとやり続けることで、光が見えてまいります。

社長 竹原正和

《引越シーズン来る！！》

引越シーズンが参りました。結婚や就職、転勤などにつきものの引越は、単に物を動かすというだけでなく、その方の人生の引越だと考えています。悲喜こもごもの思い出が込められた新たな門出に立合い、サポートするのが我々の仕事であると考えております。大切な荷物を真心こめて運ぶことを常に心掛けています。

最近、フリー便とか割引制度とか付帯サービスの幅も広がって来て、家財や備品付のマンションに引越ケースも増えて来ており、お客様の事情も様々ですが、当社はその状況に応じたサービスをその都度考えて対応させて頂いております。

まず、仕事を始める前にはお客様の思い出など人や物を思いやる想像力が必要となって来ます。そうすれば自然と大切な品物を丁寧に優しく取り扱う事が出来るからです。少しでも心配りをおろそかにすると必ずトラブルの原因になって来ます。常に真心を持ってサービスして行かなければなりません。

最近、価格面だけでの見積もりの依頼がありますが、私達はサービスと共に大切な思い出を運ぶ仕事をしているのです。そして安心を売っているのです。

幸いにして、当社の引越は、リピーターの方々からの引合い、御紹介を数多く頂きます。私達の気持ちに通じて来ているのだと大変喜んでおります。

引越シーズン当社の社員が心こめて御引き受けさせていただきます。



橋本 勝

《当社の運行管理者》

当社の強みを維持強化して行くのが最大の仕事であると考えているのが、当社の運行管理者であります。当社には運行管理者が、本社 14 名、羽咋金沢 4 名、補助者 4 名の国家資格である運行管理資格取得者がおります。多種多様な貨物、荷主企業様に対応出来る高レベルの輸送技能を身に付け、お客様の満足の実現に効率の良い配車を組み、尚且つ、乗務員の健康管理や安全輸送の指導に当たっています。

我々の日々の業務に於いて必ず良いことばかりではありません。大小の様々な問題が発生して来ます。仕事（現場）での困り事、家庭での困り事等々、乗務員は一人でこれを抱えこむケースが多く見られます。これが我々にとっては一番の危険信号なのです。

運行管理者は、いち早く顔色を見ながら、帰庫したら一言でも話かけて孤独感から解放させていくことが肝心になって来ます。先方から何か話しかけて来たらしめたものです。困り事を共有するようなニュアンスや姿勢で聞きあげて行きます。その時は、賢明な回答は出ませんが共に悩んで考えてやります。それだけで顔色も変って来ます。これだけで良いのです。このように運行管理者に求められる資質は、コミュニケーションの能力も大変に重要になって来る訳です。

又、運行管理者は輸送の現場とお客様を結ぶかけ橋でもあり、安全運行・輸送の品質、効率の良い輸送を行うためのコントロール役でもある訳です。

常に乗務員に対しては、極め細やか配慮を忘れず安全輸送と当社に対する信頼を構築して行くためには、ならなくてはならない人材（財）なのです。

齋藤 洋一

ようやく春めいてまいりましたが、皆様お元気でしょうか？

春の訪れと同時に弊社 5963 引越センターは 3 月、4 月の繁忙期に向け徐々に活気づいてきています。特に 3 月 20 日～4 月 10 日は年間を通して一番のピークとなり、予定表は真っ黒(実はそこまで黒くない)になり、県内はもちろん全国各地へとお客様の大切な荷物を運ばせて頂きます。担当する引越スタッフは、若くてイケメン？の 10 名程で構成され、普段は引越と県内の納品代行に従事しておりますが、この時期は引越で全国各地に行けることができるため、予定表の行き先を見ながらここへ行きたいとか、あそこへ行きたいと盛り上がっています。

引越作業は、転勤、新築、結婚など、人生の節目にお客様の思い出や愛着の込められた大切な家財を運ぶ仕事です。大変な仕事ですがその分やりがいもあり、作業終了後お客様から感謝の言葉を頂くとそれまでの疲れがいっぺんに吹き飛びます。

今年も弊社引越スタッフは、お客様の立場になり、心のこもったサービスで満足頂ける引越を提供していきますので、今後とも宜しくお願い致します。

大橋 哲夫

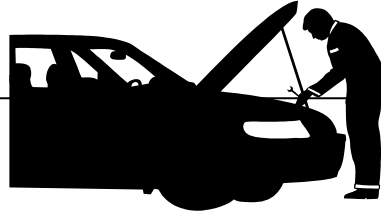


3月は、車検の多い月であります。自家用車の車検日の満了をむかえてないか、今一度確認して頂くようお願いします。車検は1ヶ月前から受けられますので、車検証の日を再度確認して下さい。

また、1ヶ月に一度ボンネットを開けて、水、オイル、ベルト、ブレーキオイル等の点検もして下さい。タイヤの空気圧も点検することにより燃費にも大変影響して来ます。燃料も高騰していますからこまめにチェックして下さい。

当工場へお越し下されば車検や点検も出来ますので、お立ちより下さい。

整備担当 吉川 文雄



1月は松、2月は梅、3月は桜、4月は藤、5月は菖蒲・・・といった具合に花札の絵柄は12月までの1年間を48枚の札で表現してあります。四季折々の草木や生き物が小さい札の中で咲き乱れ豪華絢爛なものから質素なものまで1枚（1舞）1枚に息吹まで感じます。私は小さい時から花札が好きでよく遊んでいました。知らず知らずに数字も覚え、トランプよりあたたかく感じられ、絵柄が不思議でたまりませんでした。（賭博に興じていたわけではありません）実家に帰るとどこかに古い花札があるはずです。

今でも花札の絵柄を思い出して季節の花を頭に思い描くことがあります。幼少期に身に付けた記憶は素晴らしいですね。季節の移り変わりを数字と絵に置きかえられるのですから。

先日、蓮の花の名所に立ち寄る機会がありまして、散策しましたがピンときません・・・。蓮の花と申しますとお釈迦様がお散歩される場所かと存じておりましたが、一面水しかなく蓮がありません。すぐに花札の絵柄を思い出しますが記憶にありません。「何月が見頃なのでしょう？」係りの人に尋ねますと「7月終から8月ですね」7月・・・8月は・・・あっ！

8月は坊主。お釈迦様と近い感じ・・・と自分勝手な解釈で納得してました（笑）。

四十路でも日々勉強、遊び心を持った男でありたいと考えております。

池上則和



いつもお世話になりありがとうございます。

まだまだ寒い日がありますが、時折吹く風が春を感じさせてくれるようになりました。

先日また私の鼻が花粉を受粉し始めたかと思ったら、20年ぶりにインフルエンザにかかってしまいました。

風邪の初期症状みたいなのは全く感じられず、ある日の昼食後に突然体が熱く感じたので熱を測り、38℃近い数字を見たら急につらくなってしまいました。

風邪をひかないように気を付けていたのですが、習慣的にするようにしていたうがい手洗いでは、防ぎきれない事が判明しました。と言うより、いつの間にか手段が目的になるケースに陥っていたように思います。

体調不良で早退したり、会社を休み業務に支障をきたしてしまいました。

入社以来2度目の病欠でショックでしたが、それ以上に同じ職場の人とうつしてしまうという迷惑この上ない失態には、未だに立ち直れません。

インフルエンザ予防記録は20年で途絶えてしまいましたが、今日から記録更新に向けて精進いたします。



辻川 伸吾

「あれから1年」

3月11日の東日本大震災から1年が経ちました。沢山の方々が被災されて、家を失い、家族を失い、仕事を失い・・・それでも皆さん苦悩しながらも前を向いて一生懸命生きています。若い人達は、自分の町を再建するためと勉強して政治家を目指す人も増えたと聞きました。

皆さん、自分のためでなく、人のために仕事をする、地元のために仕事をする等、何のために仕事をするのかという「仕事」の意味も変わってきたのではないかと思います。

僕もあの日から色々な事を考えるようになりました。家族の事、友達の事、などなど・・・

「何のために・・・？」という頑張る理由が苦しい時も辛い時も人を前に進めてくれるのではないかと思います。ある方がおしゃっていたのですが、「なんとなく過ごした今日というのは、昨日生きたいと願っても迎える事が出来なかった人達の明日なんだよ！」一日一日を大切に後悔しないように、前を向いて一生懸命生きて行こうと思います。

谷口 学

いつもお世話になります。寒い時期も終わり、若干肌寒いものの過ごし易い季節がやって参りました。

さて、今回は、方言のお話をしたいと思います。僕は、現在福井県に住んでいますが、出身は関西圏で少し関西なまりがあるのは、自分でも分かっているつもりです。

しかし、時折、無意識のうちにと言うよりもその言葉が関西弁と気付かずに使ってしまう、事務所のIさんやOさんに指摘され始めてそれに気付きます。例えば、「それ、そこになおしといてえ」とか「お弁当、ぬくめて」など、実際福井では使わないらしいです。

僕は、この2例が、つい最近まで標準語だと思い普通に使っていましたが、全然通じて無かったのは、凄くびっくりしました。本当に日本語（方言）は難しいです。

植田 泰樹

いつも有難うございます。皆様いかがお過ごしでしょうか？

我が家では、卒業式、引越が終り、次に入学式、入社式、花見(?)と春の行事が目白押しです。引越の準備で家の中は荷物が氾濫し、毎日忙し日々を送っていました。引越は3月9日(金)22時家を出発し、自家用車に荷物を積み、何と免許取り立ての次男が最初高速を運転、次に主人、長男、主人と交替しながら関東まで走らせました。真夜中の運転のため子供達や主人は、自分の番ではないと眠ってしまいましたが、私は緊張のため到着まで一睡も出来ませんでした。(行きは、上越経由で、長野は雪がひどく速度も規制され緊張の連続でした・・・疲れしました。)

帰りは、主人と二人で東名を帰りましたが、北陸に入ってまたまた雪、吹雪でどちらが雪を呼ぶのか分かりませんが、雪に見舞われた引越でした。今までの疲れが溜まっているのか、暫くは毎日眠くてしょうがありませんでした。(ただ、春のせいかも・・・とも思っています!)

主人と二人時間が空いてしまいましたが、何か没頭出来るものを見つけないといけませんね。

吉川 佳代



次回お楽しみに・・・